

ドイツ語ⅠA (German ⅠA)

担当教員名: 准教授 桑形 広司

【概要】

大学生になって高校時代との大きな違いを感じることに第二外国語がある。京都薬科大学ではその創立の過程からまた薬学の発祥地の言語ということから伝統的にドイツ語が第二外国語として開講されてきた。今日英語が世界共通語となりもはやそれ以外の外国語の必要性は薄まった感はあるが、それでもドイツ語学習は大学へ入学した実感を持つことのできる授業であろうし、薬学が生まれ育った国の言語文化を知ること無駄ではないはずである。それに同系統の言語であるゆえに英語をより深く理解するうえでも役立つだろう。

ⅠAでは初めて学ぶ外国語であることを考慮して現在形のみ扱う予定である。おおよその流れとしては発音、動詞の人称変化、名詞の性と格変化、動詞の不規則な人称変化、人称代名詞の格変化、前置詞あたりまで進みたいと思っている。ドイツ語の学習は辞書の使い方を知らなければまず学習の進展が望めない。従って常に独和辞典を持参してほしい。

独和辞典の紹介は最初の授業でいたします。

【授業の一般目標】

ドイツ語の挨拶、アルファベットと100までの数字の暗記。

ドイツ語で簡単な自己紹介ができることを前期の目標としたい。

【成績評価方法・基準】定期試験の成績を主とし、これに出席、小テストの成績等の平常点を加味して評価する。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

質問がある場合は本校地6号館2Fの研究室に来ること。
